



名瀬小だより

2月号



学校教育目標
自分・友だち・まちがすき
自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和3年1月29日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏



冬来りなば、春遠からじ

副校長 村松 美奈子

今年度は4月のはじめからイレギュラーが続き、「普通」「当たり前」「今まで通り」の難しい1年間となりました。正解のない、不確定なことが続く中、子どもたちは日々の生活や学習に今までと同じように一生懸命に取り組み、1年間のまとめの時期に入っています。我慢をしたり不安な気持ちを感じたりしながらの生活も多かったと思いますが、本当にここまでよく頑張ってきてくれたなと感謝の気持ちでいっぱいです。

また、「普通」「当たり前」「今まで通り」を見直すチャンスもたくさんありました。経験したことのない事態に対応する「問題解決力」を、大人も子どもも試される機会が多かったように思います。これからの生活の在り方、学習の在り方、ひいては自身の在り方（生き方）を俯瞰して考える時間を与えてもらった、ととらえることができるかもしれません。

そして、ストレスや不安感が表面に出てきたり、疲れを感じたりすることが増えた時期でもありました。その状況は今現在も続いています。引き続き子どもたちの心に向き合い、より添いながら教育活動を進めたいと考えておりますので、ご家庭でお困りのことやご相談などありましたら、小さなことでも遠慮なくご相談ください。

今年の節分は2月2日です。124年ぶりで、明治以来の出来事だそうです。立春は2月3日なので、暦の上では来週の水曜日から「春」になります。

「冬来りなば、春遠からじ」

このことわざは、イギリスの詩人、シェリーという人の「西風に寄せる歌」という中の 最後の一節、「If winter comes, can spring be far behind?」、を訳したもので、寒くて厳しい冬がやって来たなら、やがて明るく暖かな春が必ずやってくる、という意味から生まれたようです。寒くて厳しい冬の出口はなかなか見えませんが、明るく暖かい春の訪れを信じて毎日を過ごしていきたいと思えます。

先日は「本校の教育活動に関する保護者アンケート」へのご協力をありがとうございました。保護者の皆様の応援を励みに、ご意見は真摯に受け止め、来年度に向けて改善・改革を進めていきたいと考えています。今後とも名瀬小学校の教育活動にご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。